

数学科履修表(学習内容)

中1	中2	中3
<p>■代数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正負の数 ・文字と式 ・方程式 ・多項式の計算 ・連立方程式 <p>今後、数学を学習していく上で基幹となる分野である。そのため、1年次に集中的に学習する。</p> <p>■解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数（比例と反比例）1年次は基礎計算を重視していくため、教科書内容程度の扱いに留める。 <p>■幾何</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面図形 ・空間図形 <p>1年次は基礎計算を重視していくため、教科書内容程度の扱いに留める。</p>	<p>■代数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式 ・因数分解 ・式の計算の利用 <p>1年次に学習した分野の応用として扱う。引き続き集中的に学習する。</p> <p>■解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数（グラフと方程式） <p>基礎計算を重視していくため、教科書内容程度の扱いに留めるが、2次関数とのリンクのためグラフを用いた考え方を意識付ける。</p> <p>■幾何</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行と合同 ・三角形と四角形 <p>基礎計算を重視していくため、教科書内容程度の扱いに留める。</p> <p>■確率・統計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率 <p>大学入試頻出分野であるため、高等学校範囲まで含めて集中的に学習する。</p>	<p>■代数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平方根 ・2次方程式 ・方程式と不等式 <p>基礎代数分野の完成となる。2次方程式に関しては、解析分野と合わせて学習していく。</p> <p>■解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数 <p>近年の大学入試において最頻出分野であるとともに、2次関数の定着度が今後の解析分野の理解速度にも影響していくため、きめ細かく学習する。</p> <p>■幾何</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相似な図形 ・三平方の定理 ・円 <p>2次関数の定着に時間を充当するため、教科書内容に留める。</p>
高1	高2	高3
<p>■代数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数の性質 <p>教科書内容のみの学習。 ただし、難関大学個別試験では頻出であるため、3年次に再度、問題演習で取り扱う。</p> <p>■解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角関数 ・指数関数 ・対数関数 ・微分法 ・積分法 <p>大学入試において得点源とすべき分野であるため、発展的内容も含めて学習する。</p> <p>■幾何</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質 ・三角比 ・図形と計量 ・図形と方程式 <p>三角比に関しては定義から応用まで幅広く扱う。 図形と方程式に関しては、解析分野と複合的に学習する。</p> <p>■確率・統計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場合の数・確率 <p>入試問題演習を行う。 ただし、解析・幾何分野の学習時間を妨げない程度。</p>	<p>■解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数列 ・ベクトル ・平面上の曲線と複素数平面 ・微分法 ・積分法 <p>大学入試頻出分野であり、苦手となりやすい分野であるため、時間をかけて学習を進める。理系においては最重要分野であることを意識して学習する。</p> <p>■確率・統計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率分布と統計的推察 <p>大学入試センター試験対策を行う。</p>	<p>・大学入試問題演習</p> 